

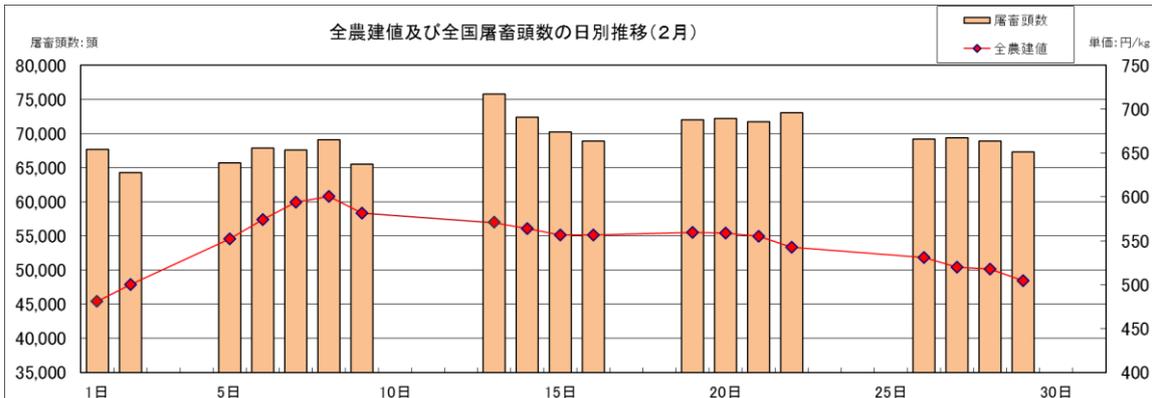
肉豚インフォメーション（2月）

● 2月の動向

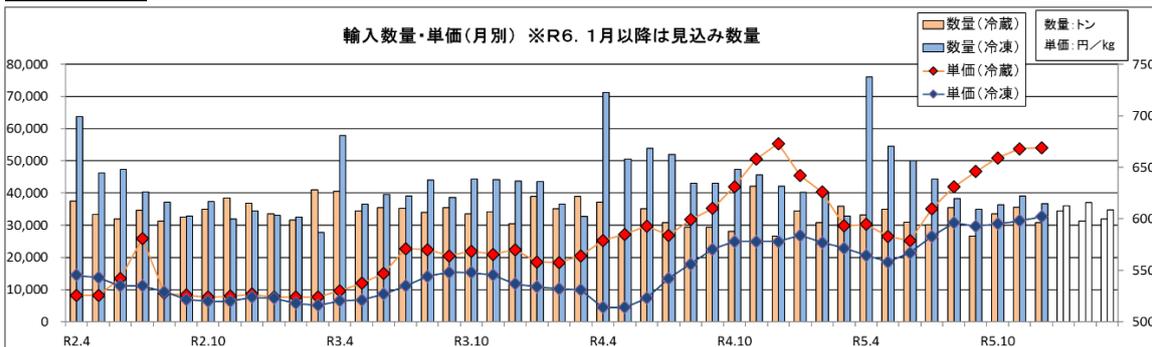
2024年2月（税抜）	2023年2月（税抜）
548円/kg（2円安）	550円/kg

※全農建値

2月は、3連休が2回あったことから連休に向けた手当て買いや連休後の補充買いなどもあり、通常相場が冷え込む2月としては高い相場で推移した。

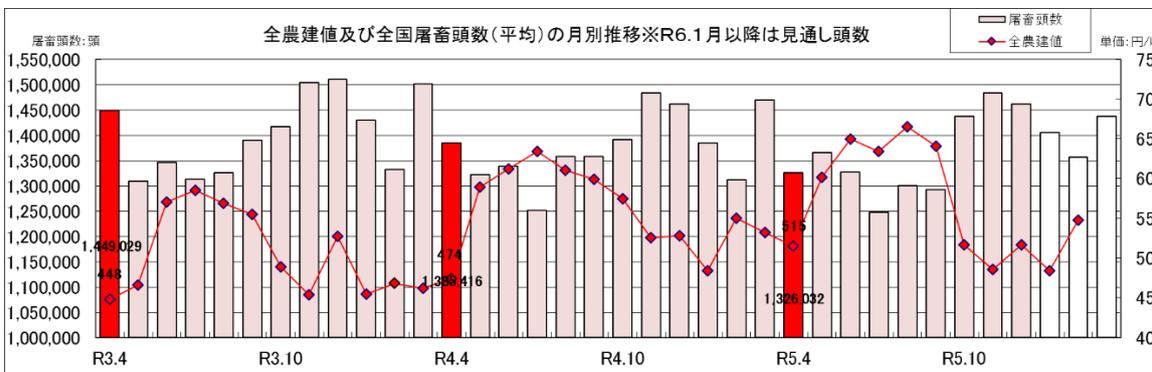


● 輸入動向



● 3月の動向

3月の出荷頭数は、前年同月をわずかに下回ると予測されている。



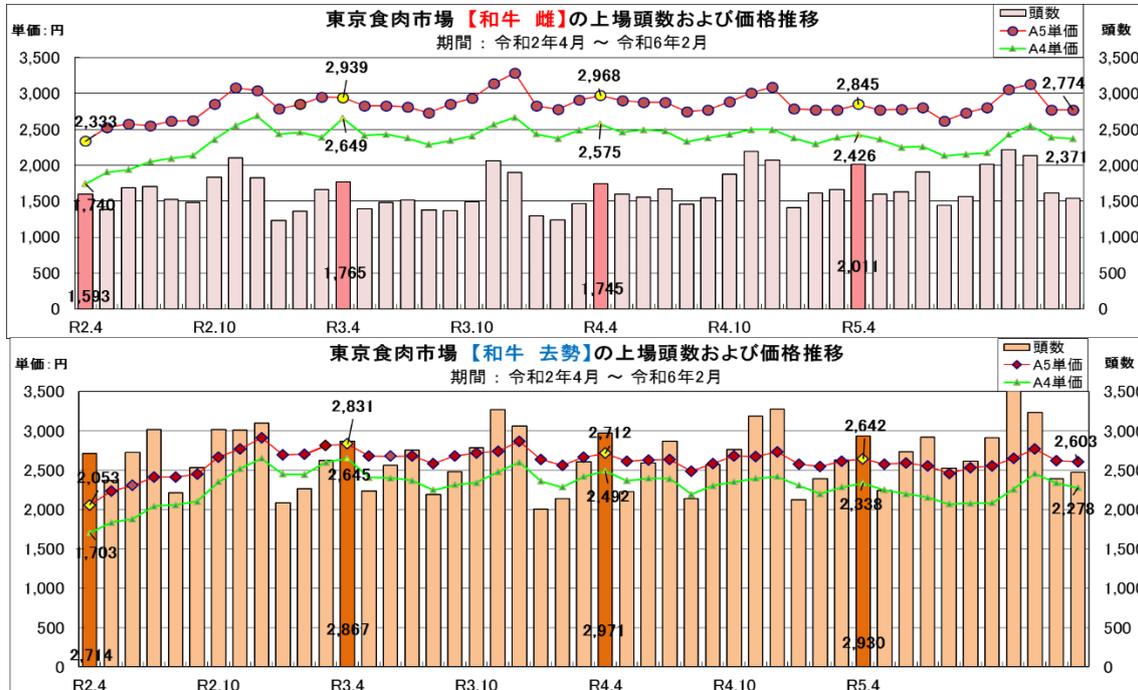
3月の相場は、底堅く推移する見通し。

全農建値（税抜）予測レンジは510円～550円とする。

肉牛インフォメーション（2月）

● 2月の動向

和牛の上物は徐々に下げたものの、例年の下げ幅よりも穏やかな印象でジリ安の展開。交雑牛については2等級、3等級の引き合いが強く堅調な展開となった。



● 3月の動向予測

4～5月の焼肉、BBQシーズンに向けた仕入れの活発化に期待したい。20日ごろから徐々に引き合いが強まると見込む。

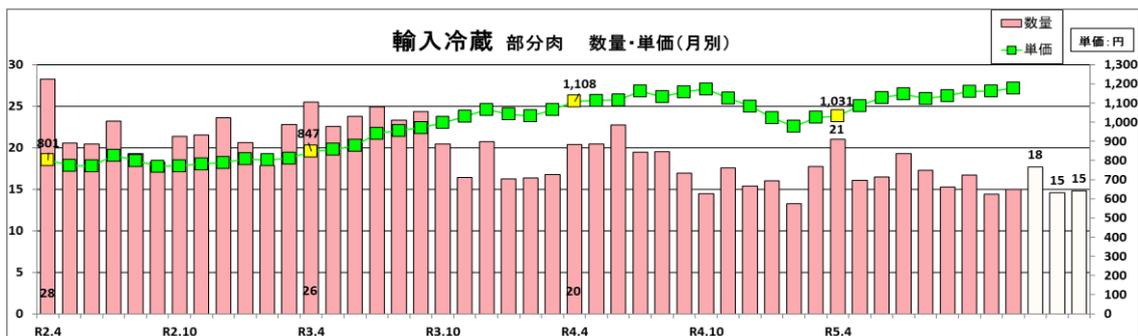
3月相場は「ジリ高」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,600円（税込み） A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,650円（税込み） B3等級 1,550円（税込み）

● 輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、2月は、国内需要が低迷下にあるものの、前年同月の豪州産の輸入量が入船遅れにより少なかったこと等から、前年同月をかなりの程度上回ると予測する。3月は、国内需要が低迷下にある中、主要国を含む多くの輸入先からの輸入量が少ないことから、前年同月を大幅に下回ると予測する。なお、3か月平均でも、前年同期をやや下回ると予測する。
(ALIC牛肉の需給予測について2月27日)



食肉インフォメーション（2月）

●2月の動向

○牛肉

今年の2月は2回の3連休と「肉の日」があり、イベント需要が期待された。しかし消費者の節約志向が引き続き強く、高級部位のロイン系の販売は振るわなかったが、比較的安価なウデ・スネ等のスソ物は堅調だった。また、2月も平年より高い気温が続いたことで、鍋物用の肩ロース・バラは例年と比べて不調となった。

○豚肉

2月は、4ヵ月ぶりに1,000品目を超える食品値上げが行われ、安価な商品の需要が高まったことと、量販店での決算セールにて小間切れが販売の中心となったことから、ウデ・モモ等のスソ物の売れ行きが好調だった。しかし、暖冬傾向から鍋物需要が伸び悩み、ロース・バラ等のスライス商品は苦戦となった。

●3月の動向予測

○牛肉

月下旬の歓送迎会・花見シーズンに入ると、外食需要の高まりから焼肉用のバラ・肩ロースの販売が増加すると予想される。しかしながら、物価高騰により消費者の節約意識は高い状態を維持すると予想され、比較的安価なスソ物が堅調に推移する一方で、ロース等の高級部位は厳しい展開になると思われる。

○豚肉

3月は年度末にかけてのイベント需要増加と気温上昇に伴い、焼肉・BBQ用のバラ・肩ロースの販売が増えてくると予想される。しかし、末端消費が弱い中では、月下旬までは安価な切落し・挽肉用のスソ物に需要が集中する状況が続くと思われる。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年1月期） 単位：千円、%

年度	J A	どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和3年度1月	9,906	11,059	7,504	31,211	12,461	11,073	4,719	87,933
令和4年度1月	10,267	9,567	10,852	22,022	15,564	7,759	4,182	80,213
令和5年度1月	9,499	10,339	9,310	30,328	14,726	10,152	4,894	89,248
増減 (R5-R4)	-768	772	-1,542	8,306	-838	2,393	712	9,035
対比 (R3/R5)	96%	93%	124%	97%	118%	92%	104%	101%
対比 (R4/R5)	93%	108%	86%	138%	95%	131%	117%	111%